第5回近畿圏パーソントリップ調査 データ集計システム 利用マニュアル

1. 集計システムを利用するにあたって

1.1 はじめに

本書では「第5回近畿圏パーソントリップ調査データ集計システム」の利用方法について説明します。

1.2 利用可能なWebブラウザについて

本システムは以下のブラウザにて利用可能となっています。

● Google Chrome Version 15 以降

1.3 ログインアカウント/パスワードについて

本システムを利用する際にはログインアカウントとパスワードが必要となります。 初めてご利用になる場合は、ユーザー登録画面から登録を行って下さい。

2. 利用方法について

2.1 集計操作の流れ

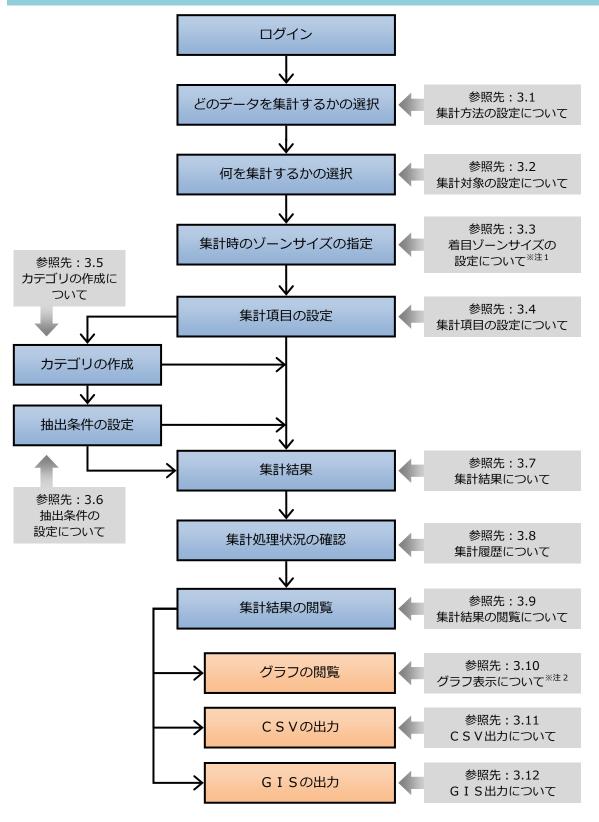


図 2.1.1 集計操作のフロー図

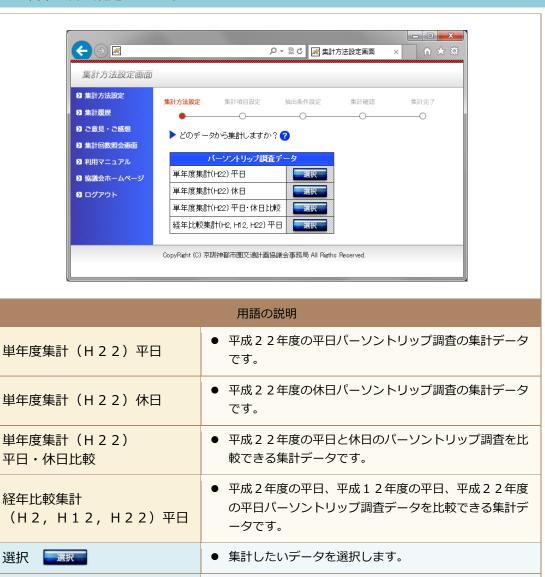
※注1:「駅端末量集計」選択時は表示されません。

※注2:集計方法によってグラフ表示されない場合があります。 ※注3:集計方法によってGIS出力できない場合があります。

3. 集計方法について

ヘルプ 🕜

3.1 集計方法の設定について



● ヘルプ内容が表示されます。

| | 集計方法設定 集計方法設定 | ● 集計方法設定画面へのリンクです。 |
|------|--|-------------------------|
| | 集計履歴 以集計履歴 | ● 集計履歴画面へのリンクです。 |
| | ご意見・ご感想 ▷ ご意見・ご感想 | ● ご意見・ご感想画面へのリンクです。 |
| メニュー | 集計回数紹介画面 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十 | ● 過去の集計内容と回数を表示します。 |
| · | 利用マニュアル り 利用マニュアル | ● 利用マニュアルを用意しております。 |
| | 協議会ホームページ 協議会ホームページ | ● 協議会ホームページのトップへのリンクです。 |
| | ログアウト ログアウト | ● ログアウトし、ログイン画面へ移動します。 |

注:「メニュー」の項目については重複するため、以降省略いたします。

3.2 集計対象の設定について

(1) 単年度集計の場合



● ある地域に居住する人が引き起こすすべてのトリップ(単位:トリップ/ 生成量集計 日)をいいます。 ● ある地域に居住する人が行う1人1日あたりの平均トリップ数のことをい 生成原単位 います。 (グロス) 集計 ● グロスとは夜間人口1人あたりのトリップ数です。 ● ある地域に居住する人が行う1人1日あたりの平均トリップ数のことをい 生成原単位 います。 (ネット) 集計 ◆ ネットとは外出人口1人あたりのトリップ数です。 ● 目的トリップ毎の起終点間の交通量を表であらわしたもので、表側が起点 の地域、表頭が終点の地域を示しています。 ● 表側と表頭の集計項目は、地域サイズを指定します。このとき、表側、表 OD交通量集計 頭に他の集計項目をセットする事は出来ません。 ● 地域を非着目の市区町村とする事でGIS連携データの出力が可能です。 ● 手段トリップ毎の起終点間の交通量を表であらわしたもので、表側が起点 の地域、表頭が終点の地域を示しています。 OD交通量集計 (アンリンクト ● 表側と表頭の集計項目は、地域サイズを指定します。このとき、表側、表 トリップ) 頭に他の集計項目をセットする事は出来ません。 ● 地域を非着目の市区町村とする事でGIS連携データの出力が可能です。

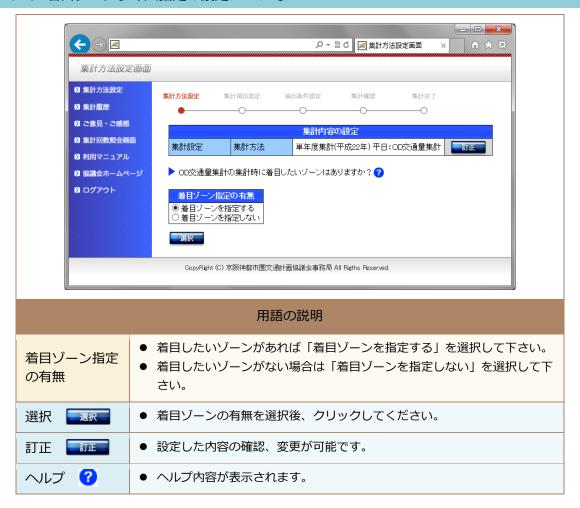
| 発生集中量集計 | ある地域に発生または集中する目的毎のトリップを発生量、集中量、発生集中量であらわしたものです。表側は地域サイズを指定しますが、表側に他の集計項目をセットする事は出来ません。 奥行きの1番目は発生量・集中量・発生集中量がセットされ、表頭には集計したい項目をセットします。 地域を非着目の市区町村とする事でGIS連携データの出力が可能です。 |
|-----------------------------|---|
| 発生集中量集計 (アンリンクト トリップ) | ある地域に発生または集中する手段毎のトリップを発生量、集中量、発生集中量であらわしたもので、表側には地域サイズを指定します。このとき表側に他の集計項目をセットする事は出来ません。 奥行きの1番目は発生量・集中量・発生集中量がセットされます。 表頭は集計したい項目を指定します。 地域を非着目の市区町村とする事でGIS連携データの出力が可能です。 |
| 駅端末量集計 | ● 手段トリップにて鉄道を利用したトリップに対し、乗車駅までどの端末交通手段で移動したか、降車駅からどの端末交通手段で移動したかをあらわしたものです。 ● 奥行きの1番目は乗降区分(乗車・降車・乗降計)がセットされます。また、表側、表頭の集計項目は集計したい項目を指定します。 ● 但し、表側、表頭、奥行きのいずれかで「鉄道・駅」を選択する必要があります。 ● 地域を非着目の市区町村とする事でGIS連携データの出力が可能です。 |
| 選択 | ● 集計したいデータを選択します。 |
| 訂正 ■訂正■ | ● 設定した内容の確認、変更が可能です。 |
| ヘルプ 🕜 | ● ヘルプ内容が表示されます。 |

(2) 経年集計の場合



| 用語の説明 | | |
|---------|--|--|
| OD交通量集計 | ● 目的トリップ毎の起終点間の交通量を表であらわしたもので、表側が起点の地域、表頭が終点の地域を示しています。 ● 表側と表頭の集計項目は、地域サイズを指定します。このとき、表側、表頭に他の集計項目をセットする事は出来ません。 ● 地域を非着目の市区町村とする事でGIS連携データの出力が可能です。 | |
| 発生集中量集計 | ある地域に発生または集中する目的毎のトリップを発生量、集中量、発生集中量であらわしたものです。表側は地域サイズを指定しますが、表側に他の集計項目をセットする事は出来ません。 奥行きの1番目は発生量・集中量・発生集中量がセットされ、表頭には集計したい項目をセットします。 地域を非着目の市区町村とする事でGIS連携データの出力が可能です。 | |
| 選択 | ● 集計したいデータを選択します。 | |
| 訂正 ■■■ | ● 設定した内容の確認、変更が可能です。 | |
| ヘルプ 🕜 | ● ヘルプ内容が表示されます。 | |

3.3 着目ゾーンサイズ指定の設定について



(1) 着目ゾーンを利用した場合



単年:郵便 < センサス < 小ゾーン < 市区町村 < 中ゾーン < 大ゾーン < 府県市ゾーン 経年:経年中ゾーン < 経年大ゾーン < 経年府県市ゾーン 注) ゾーンの大きさ比較

(2) 着目ゾーンを利用しない場合



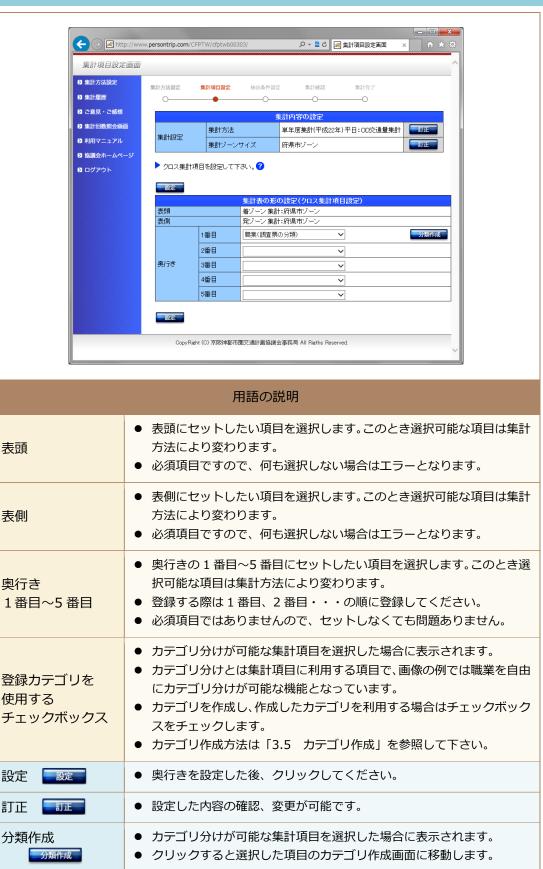
3.4 集計項目(単年OD集計の場合)の設定について

表頭

表側

奥行き

ヘルプ 🕜



● ヘルプ内容が表示されます。

3.5 カテゴリの作成について

(1) 個人属性の「出発場所施設」のカテゴリ作成画面の場合



(2) カテゴリの作成



| 用語の説明 - The Company of the Compan | | |
|--|---|--|
| オリジナル分類名 | ● 作成したカテゴリの名称を登録します。 | |
| グループ | ● グループ番号です。 | |
| グループ化項目 | ● 作成したカテゴリの名称を登録します。 | |
| グループ名 | 割当グループ毎の名称を登録します。ここで登録した名称が集計結果画面のヘッダとして表示されます。 | |
| 設定 | ● カテゴリ名、各グループ名を登録します。 | |
| 戻る | ● グループ割当画面に戻ります。 | |
| ヘルプ 🕜 | ● ヘルプ内容が表示されます。 | |

3.6 抽出条件(単年OD集計の場合)の設定について

抽出条件の項目には項目タイプに種類があります。 ここでは項目タイプ毎に条件の指定の仕方について説明します。

(1) トリップ特性抽出条件



- 項目に複数の結果値があり、複数の値を選択可能な項目、選択した項目の結果値の一覧が表示されますので、集計対象に含めたい内容にチェックを入れます。
- 逆に集計対象から外したい内容はチェックを入れません。

| ー 用語の説明 | | |
|---------------|--|--|
| トリップ特性 抽出条件項目 | ● トリップ特性で抽出条件を指定したい項目にチェックを入れます。そのとき、抽出条件で指定可能な項目は集計方法により変わります。 | |
| 次へ | ● 抽出したい項目にチェックを入れた後に選択する事で、チェックを 入れた項目の値条件の設定画面に移動します。 | |
| スキップ | ● トリップ特性抽出条件を指定しない場合、スキップを選択します。 | |
| 訂正 訂正 | ● 設定した内容の確認、変更が可能です。 | |
| 集計確認 | ● 後続の個人属性抽出条件を指定しない場合、後続処理をスキップし、 集計開始処理画面に移動します。 | |
| ヘルプ ? | ● ヘルプ内容が表示されます。 | |

出発場所施設 到着場所施設

● 出発する場所もしくは到着する場所をチェックボックスで選択します。



出発場所の種類 到着場所の種類

● 出発する場所、もしくは到着する場所の種類を、チェックボックスで選択 します。



発ゾーン 着ゾーン

● 選択した項目が地域を絞ることのできる項目の場合、「地域の一覧から絞る」「地図から選択」の2つの方法から地域を絞ることが可能です。



目的

- 目的は大分類もしくは調査票の分類から抽出できます。
- チェックボックスで選択します。





代表交通手段

- 代表交通手段は大分類もしくは調査票の分類から抽出できます。
- チェックボックスで選択します。





| 移動開始時 移動終了時 移動時間 | ● 「▲以上△未満」の形式で条件を絞り込みます。 |
|------------------------|---|
| | トリップ特性輸出条件 移動開始時 以上 未満 |
| | よりっプ特性抽出条件 移動性了時 以上 [|
| | トリップ特性抽出条件 移動時間 |
| 利用自動車の所属 | ● チェックボックスで選択します。 |
| | ドリップ特性輸出条件 |
| | 1. 家の車 |
| 運転者区分 | ● チェックボックスで選択します。 |
| | トリップ特性論出条件 |
| | □1・日分 □2・客族の方 □3・その他 □4・不明 |
| 乗車人数 | ● 「▲以上△未満」の形式で条件を絞り込みます。 |
| | ドリップ特性抽出条件 乗者人数 以上 未満 |

(2) 個人属性の抽出条件



用語の説明 ● 個人属性抽出条件で抽出条件を指定したい項目にチェックを入れます。この 個人属性 とき、抽出条件で指定可能な項目は集計方法によって変わります。 抽出条件項目 次へ ● 抽出したい項目にチェックを入れた後に選択する事で、チェックを入れた項 目の条件の設定画面に移動します。 次へ スキップ ● トリップ特性抽出条件を指定しない場合、スキップを選択します。 訂正 ● 設定した内容の確認、変更が可能です。 訂正 集計確認 ● 後続の個人属性抽出条件を指定しない場合、後続処理をスキップし、集計開 始処理画面に移動します。 集計確認 ヘルプ ● ヘルプ内容が表示されます。 0



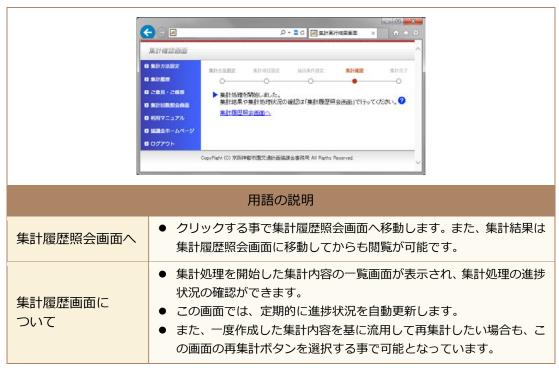
(3) 特性を設定しない場合



| 用語の説明 | | |
|-----------------|--|--|
| 集計確認について | ● 集計内容の設定を確認し、集計処理を開始させます。 | |
| 訂正 ■訂正■ | ● 訂正したい箇所があれば選択します。 | |
| 集計 | ● 集計内容の設定に問題無ければ、集計ボタンを選択する事で集計処理が 開始されます。 | |
| ヘルプ 🕜 | ● ヘルプ内容が表示されます。 | |
| ワーニング表示に ついて | ● 表頭、又は奥行きに指定した項目の区分値の数が256以上999以下の場合、集計結果をCSV出力した際にエクセル(Ver2003)で開けない為、ワーニングメッセージが表示されます。しかし、集計処理を開始する事は可能です。 | |
| エラー表示に ついて | 表頭、又は奥行きに指定した項目の区分値の数が1,000以上の場合、 集計処理に多大な時間がかかるため、エラーメッセージが表示され集計 処理を開始する事はできなくなります。 集計項目を見直すか、抽出条件で絞込みをかけるなどして、区分値の数 を減らしてから再度集計処理を実施して下さい。 | |

3.7 集計結果について

集計ボタンを押下すると下記画面に遷移します。



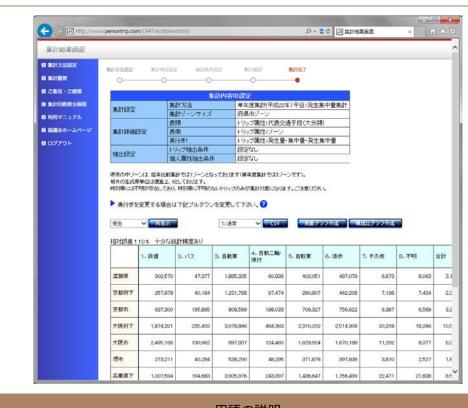
3.8 集計履歴について



3.9 集計結果の閲覧について

集計結果を閲覧する画面となります。

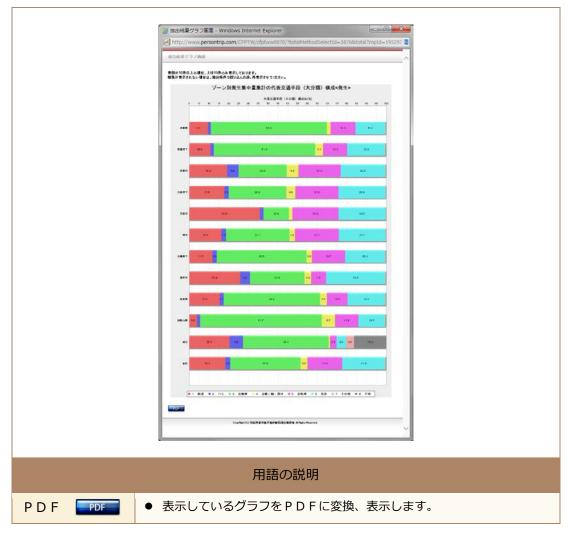
集計結果データの出力もこの画面より実施します。



| | 用語の説明 |
|------------------------|---|
| 奥行き区分値変更 コンボボックス | ● 奥行き1番目~8番目で設定したパターン毎の区分値を選択し、再表示ボタンを選択する事で、集計結果に反映されます。 |
| 再表示 | ● 奥行き区分値変更コンボボックスで選択された奥行きパターンの集計 結果情報を、画面に表示します。 |
| 相対誤差表示 | ● 集計結果の相対誤差率を表示します。 |
| C S V出力 | ● 集計結果の内容をCSVファイルに出力します。● ボタンを押下し、ファイルを開くかファイル保存するかを選択します。 |
| G I Sデータ出力 GISデータ出力 | ● GIS連携用のXMLファイルが出力されます。 |
| 実数グラフ作成 | ● 実数グラフを表示します。 |
| 構成比グラフ作成 | ● 構成比グラフを表示します。 |
| 集計結果 | ● 表頭、表側、奥行きによる集計結果が表示されます。 |
| ヘルプ 🕜 | ● ヘルプ内容が表示されます。 |

3.10 グラフ表示について

集計結果画面より実数グラフ/構成比グラフを表示すると、以下のようにグラフ表示用の画面が表示されます。



3.11 CSV出力について

集計結果画面より集計結果の情報をCSV形式のファイルで出力します。

Ver2003 迄のエクセルで開く際、表頭の数が 256 以上の場合に全てのデータを開く事が出来ませんので留意が必要です。



● CSVボタンを選択すると上記のように「プログラムで開く」か「ファイルを保存する」を選択するダイアログが表示されますので、どちらかを選択して下さい。

3.12 GIS出力について

集計結果画面より、集計結果データをGIS連携用のデータ形式(JP-GIS形式)に変換して出力します。